訓練 **弟子たち**

会期 **10:サブミッション(5b)**

ロン・ライブリー、M.Div.、M.A.による提供 – BiblicalMentoring.org(学問)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人が記憶の節を引用します: ヴァース: **エペソ人への手紙 1:22-23**
22 そして彼はすべてのものを足の下に置いた
そして教会の万物の首長として彼を差し出した。
23 それは彼の体であり、すべてを満たす彼の満ち足り。

ステップ3: *聖書章の全部または一部を読んで議論してください* **– エペソ人への手紙 1章**

ステップ4: 個人申請やグループディスカッションのための質問:

一. 私たち弟子は、初期教会の使徒やパウロと同じ権威を持っているのでしょうか?なぜでしょうか?誰が私たちにその権威を与えているのでしょうか?

二. 私たちの神に対する態度は、神に対する私たちの態度を反映する権威を与えているのでしょうか?

三. 私たちの権威が偉大なのは、私たちが代表する相手によってのみ大きいと同意できますか?

四. フィリップスが「私たちの上に権威を持つ者たちに服従しないことは重大な罪であり、重大な結果をもたらす」と書いていることに賛成ですか?

五. BiblicalMentoring.org 省は運営委員会の権限の下で運営されていることを認識することが重要です。

ステップ5*:本の内容を読んで議論してください:*

著者による第5b章 キース・フィリップス:

キリストは今日、委任された権威によって支配されています

イエスは宣言されました。「...天と地のすべての権威はわたしに与えられた。」この基礎に基づき、弟子たちに「行け...」「すべての国民を弟子にしなさい...」と命じられました。この命令には、教会を建設し規範するために弟子たちに権威を委ねることが含まれていました。なぜなら、イエスは「父と子と聖霊の御名によって」と言われたからです(マタイ28:18,19)。イエスは弟子たちに「あなたがたを受け入れる者は私を受け入れ、私を受け入れる者は私を遣わした者を受け入れる」と言われました(マタイ10:40)。ここに権威の連鎖がありました。キリストは父を象徴し、使徒たちはキリストを象徴していました。使徒を受け入れることは父を受け入れることであり(ヨハネ13:20)、使徒を拒絶することはキリストと父を拒絶することでした。使徒パウロはしばしば神から与えられた権威について言及しました。「たとえ主があなたを築くために与えられた私たちの権威について、たとえ私が少し誇ってあっても、私は恥をかかずることはない」(コリント人への第二の手紙10章8節)。そしてパウロはしばしばその権威を行使しました。「今、我らの主イエス・キリストの御名によって、兄弟たちよ、命じる...」(テサロニケ人への第二の手紙3章6節)最初の弟子たちは、キリストから受けた権威を訓練した者たちに委ねました。キリストの権威をもって、彼らは教会の指導者を任命しました(使徒行伝6:3,6;14:23)。そして彼らに他の者を教えさせ、その指導者がまた他の者を教えることになりました(テモテ第二2:2)。パウロは自らの権威をテトに託し(テトス1:5)、「そこにいるキリスト者たちに、信仰を強くするために必要な限り厳しく語りなさい」と命じました。(テトス1:13 LB)そして「その権利を十分に持つ者として正すように.....」(テトス2:15 LB)。パウロはキリスト教徒たちがキリストご自身に従うように、弟子二人の権威に従うことを期待しました。「彼らの指示に従い、彼らやあなたのそばで真の献身をもって働く他のすべての者を助けるためにできる限りのことをしてください」(コリント人への第一の手紙16:16 LB、斜体追加)。新約聖書教会では、第二世代と第三世代の弟子たちは自由に権威を行使していました

。すべての権威は神から来る(ローマ13:1-5)、神は選ばれた者に権威を与えられる(エペソ4:11,12)ため、神が権威を託された者に対する私たちの態度は、神に対する本当の態度を反映しています。神の委任された権威が私たちの生活に触れるたびに、キリストはそれを認め、キリストご自身に喜びをもって服従することを求めます。私たちの服従は神への信頼の宣言です。

服従によって権限を得る

その人が行使する権威は、服従する権威によって決まります。ローマの百人隊長は、キリストが一言でも話せば、しもべが癒されると知っていました。百人隊長は自信を説明しました。「わたしもまた権威の下に置かれた人間だからです...」(ルカ7:7,8 KJV)。彼は委任された権威に与えられる力を理解していました。指導者に服従している限り、彼が発するすべての命令はローマ皇帝の権威を帯びていました。皇帝に逆らうことは皇帝を貶めることでした。百人隊長の権威は、彼が代表する者によって大きかったのです。百人隊長はこの同じ原則をキリストにおいて認識しました。彼は神を代表し、父の御心に完全に従順であったため、イエスが発したすべての言葉に神の権威が授けられました(エペソ人への手紙1:20-23)。百人隊長の告白「私もまた権威の下に置かれた者である」は、すべての真の権威の聖書的根拠を要約しています。すなわち、服従しない者は権威を行使する権利はないということです。ある日、ロサンゼルス中心部で大規模な渋滞を見かけました。ある男が混雑した交差点の真ん中に立ち、最初は一方向から、次に別の方向から交通を止めていました。ついに彼は四方から来る交通を止めました。運転手たちは激怒しました。通行人は叫び声を上げていました。私はそれをどう受け止めていいかわかりませんでした。その男は有能に見えました。身なりは整い、髭もきれいに剃っており、騒ぎにまったく動じていない様子でした。しかし、彼の動機は理解できませんでした。火事も事故もけが人もありません。警察が到着し、その男を路肩まで連れて行くと、群衆は嘲笑し叫びました。「精神病院に放り込め!精神科医に連れて行け!」彼らはその男に対して判決を下し、明らかに自分の権限でない権限を行使したため、施設に収容する準備ができていました。彼は警官でも消防士でもありません。彼は単なる市民であり、コンタクトレンズを探していただけのことです!群衆は、権威なしに権威を行使する者は狂人に違いないと結論づけました。キリスト教徒にはキリストからの権威がなければありません。そしてキリストは委任された権威によって支配されているため、私たちが権威ある者たちに服従することを拒否すると、権威を失います。ヨハネがガイウスにディオトレフに従うなと指示した例があります。ディオトレフはヨハネに従わなかったからです(ヨハネ3 9-11)。私たちの上に権威を持つ者に服従しないことは、重大な罪であり、重い結果を伴います。パウロはこう書いています。「もし誰かがこの手紙の教えに従わなければ、その人に特に注意を払い、交わってはならない。そうすれば恥をかかせられることになる。しかし敵とは見なさず、兄弟として戒めなさい」(テサロニケ書下3:14-15)。自分の上にいる権威ある者に服従することを拒む信者は、家出した子供のようなものです。彼は自分で生きようとしますが、大人の監督がなければ生存は深刻な危機に瀕します。霊的な守護者の保護を自ら奪う者は、神の養育の用意を拒み、不安定な未来に直面します。信頼は弟子の力です(イザヤ書30:15)。私がワッツで働き始めたとき、誰にも服従していませんでした。やがて私は、敬虔な人々の権威の下にいなければ、私には権威がないことに気づきました。それは私にとって悪いことで、私が仕える人々にとってはさらに悪いことでした。私は「多くの助言者の中に安全がある」(箴言11:14 KJV)ため、従順にできる男性の集団のために熱心に祈りました。そして、神が初期の教会指導者たちに集団的に語りかけられたことを知りました(使徒言15:28)。ヨハネ第一4章1節には「霊を試してから服従するな」とあります。これは敬虔な人々の指導を求める命令です。私は、これらの人々が神の権威を受けるためには特定の聖書的要件を満たす必要があると認識しました。個人としても集団としても、彼らは絶対的な権威として神の言葉に従う必要がありました(テモテ第一6章3-5節; テモテ第二3:16,17)。彼らはキリスト教的献身(コリント人への第二の手紙8章22節)を証明し、他者に仕えること(マタイによる福音書20章26節、27節)、そして金銭の管理などすべての事柄に忠実であることを証明しなければなりませんでした(ルカによる福音書16章10-12節)。まとめると、彼らは信仰を生き、私が模範となるモデルを提供しなければなりませんでした(ヨハネ311章)。そして主は忠実にこれらの人々を供給されました。彼らはワールドインパクトの執行委員会となりました。彼らの神への献身を確認したとき、私は彼らを通して神の指導を信頼し、積極的に導き、戒めてもらえると確信しました。

51-54ページ

***ステップ6**：個人的な祈りの願いを共有し、それぞれがお互いの願いを祈ります。*

出典： 弟子の形成 キース・フィリップス博士著。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。以下の内容(勉強問題を除く)は本書からの改訂なしのものです。

改訂20261011